平成２２年度

湯沢砂防だより

No.2

国土交通省　湯沢砂防事務所

★　平成 22 年８月９日、11 日

管内市町村長の方々とヘリによる崩壊地調査を実施しました

湯沢砂防事務所管内の水源地は荒廃（こうはい）山地が広がっており、また、流域内には多くの火山があることから、非常に脆弱（ぜいじゃく）な地質が上流域を占めています。これら荒廃地からの土砂流出を防ぎ、安全に暮らすため、砂防事業を進めています。

荒廃地の状況は地上から確認することは難しいため、今回、各市町村の代表の方々と共にヘリコプターによる上空からの荒廃地調査、及び現在進めている砂防施設の実施状況の確認を行いました。

実際に荒れている山地を確認することにより、改めて砂防事業の必要性を認識して頂くことが出来ました。

管内市町村の代表の方々に参加して頂きました（左から３番目が井口南魚沼市長、右から２番目が上村湯沢町長）

上空から各流域の状況を確認（写真は三国川流域）